実践！レディス・パターン教室　No.055

再びラグランスリーブの作図…その2



菊地　正哲
（きくち・まさのり）
ドレスメーカー学院特任教授
日本モデリスト協会運営委員
東京マイスター



時代はともあれ、後ろは誠に厄介な存在ではあります。前号の最後に、その防止策として袖を前に振ることが有効であると、後ろ肩にいせを入れることで袖が前に振れる原理を説明しました。今回は、その原理をさらに詳しく掘り下げ、その上で前号の相関表を基にしたラグランスリーブの傾斜度別の作図例を紹介します。

それにしてもラグランスリーブは本当に着やすい袖なのか、はなはだ疑問ですな。何故このような袖の構造をとらなければいけないのか、その必然性が私には分かりません。そんなことを思いながら、ひたすらラグランスリーブのパターンを引き、シルエットの検証を行ってまいりました。その中で、機能的なメリットもいくつか感じてはいます。まず、袖の傾斜度によっては肩部分の地の目がバイアスになるので、肩回りの圧迫感が減る（想像です）こと。そして、袖付けの縫製がセットインより楽（私見です）なこと。さらに、アームホールの丸い縫い目がないので、着脱の際に腕の通りが多少はスムーズになる（これも私見です）、ということです。

あと、肩の縫い目がないため、一枚袖のラグランなら、雨水の侵入を防げることもメリットとして挙げられますかね。

そんなラグランスリーブですが、ファッションの見地からすれば素敵でお洒落な袖であることには違いありません。何だかんだ言っても、実は私はラグランスリーブが結構好きです。何が言いたいのでしょうね…。

4．後ろに振れたラグラン袖を前振りに直すには？

ラグランスリーブが後ろに振れてしまう場合、どのように修正したら前に振れるかを説明する。これは3Dでは検証できないので、実際のトワルを使って修正結果を検証する。

【4－1】後ろに振れた袖と修正後の袖のトワル画像。

【4－2】トワルに修正を施した部分の拡大画像。

後ろに振れる原因は、後ろ肩先の突っ張りにある。そこに縦に切り込みを入れると口が開き、突っ張りが解放されて袖は前に振れる。

【4－3】トワルに入れた切り込みをパターンに反映した図。

切り込みが開いた分を菱形の交線としてパターンに書き込む。

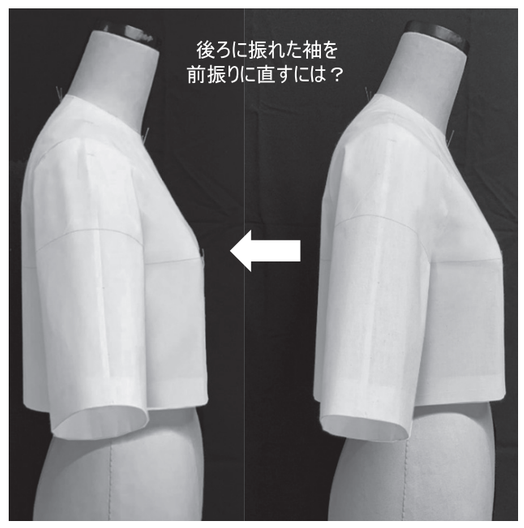
【4－4】修正例①肩を基点に交線を下で開いて重なりをなくす。

下が開いた分だけ身幅も広げる。後ろ肩にいせを入れられない場合はこの扱いになる。前後の身幅のバランスが変わるので、シルエットに影響することを承知しておく。

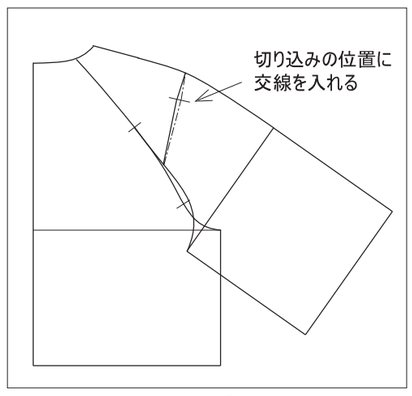
【4－5】修正例②ラグラン線を基点に交線を肩で開いて重なりをなくす。

肩が開いた分をいせにする。後ろ袖線の角度が増える（傾斜が急になる）ため、一見すると更に後ろに振れてしまいそうだが、実際は前に振れる。

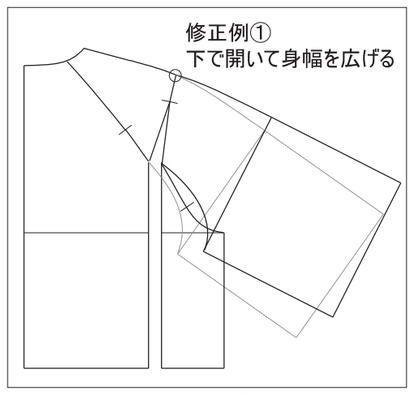
――どちらの例が適しているかはデザインや素材で判断すればよい。紹介している作図法はすべて修正例②の結果を初めから想定しているので、後ろ肩線のいせを必ず入れる設計にしている。



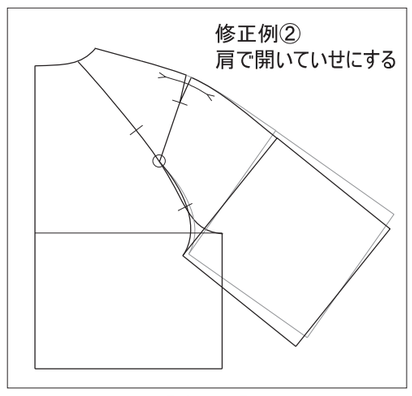
【4－1】



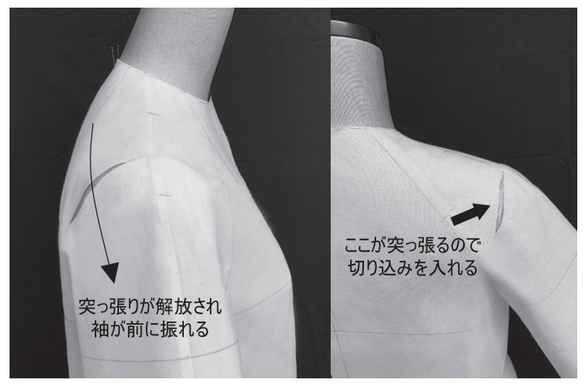
【4－3】



【4－4】



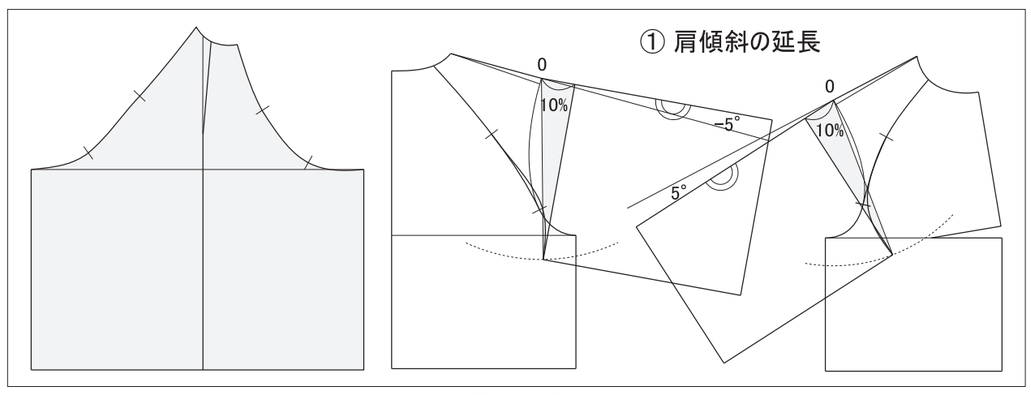
【4－5】



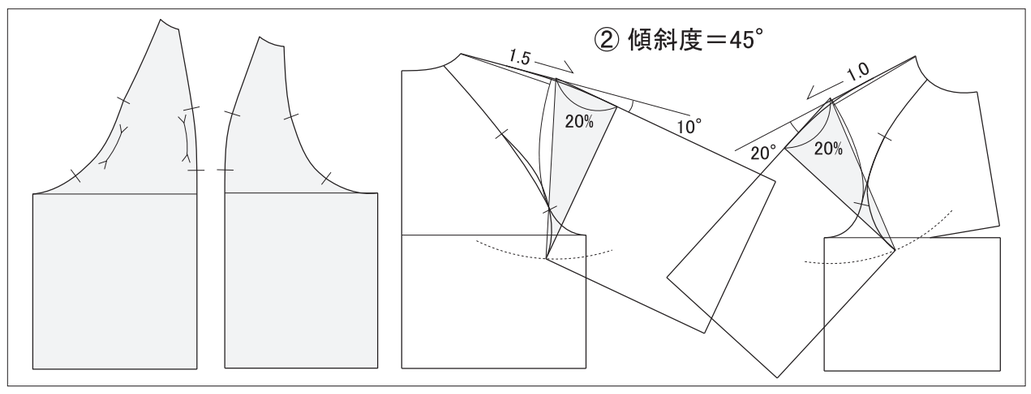
【4－2】

5．傾斜度別ラグランスリーブの作図例

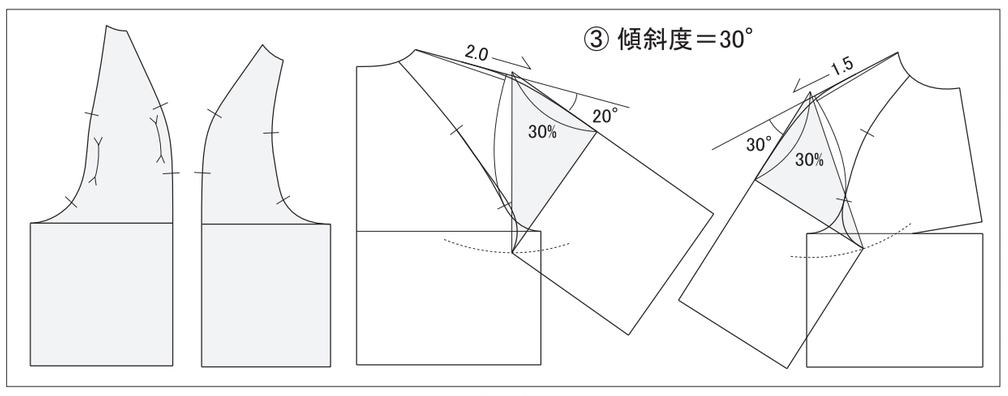
前号の相関表の数値を基にして、4通りの袖の傾斜度で作図を行った。肩先に5㍉のいせを入れている。また、肩線を前における袖山の高さと袖幅を決める案内線の役割をしている。三角形の斜辺の長さは前後のＡＨ（アームホール）と同寸である。また、身ごろの肩傾斜は肩先ですべて5㍉持ち上げている。



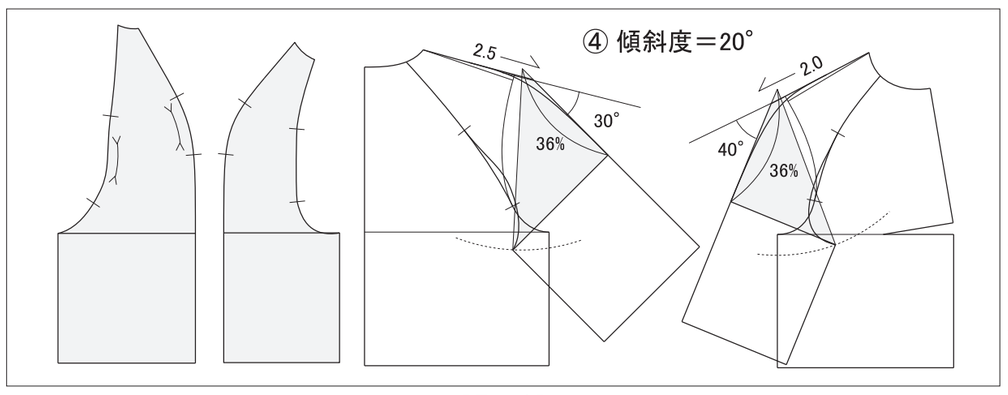
【5－1】



【5－2】



【5－3】



【5－4】

【5－1】①肩傾斜の延長（1枚袖）の作図と袖の完成パターン。

■袖山の高さ＝10％
■肩先延長＝0㍉
■後ろ袖線＝マイナス5度
■前袖線＝5度

【5－2】②傾斜度45度の作図と袖の完成パターン。

■後ろ袖線＝10度
■袖山の高さ＝20％
■肩先延長＝前1㍉、後ろ1・5㍉
■前袖線＝20度

【5－3】③傾斜度30度の作図と袖の完成パターン。

■前袖線＝30度
■後ろ袖線＝20度
■袖山の高さ＝30％
■肩先延長＝前1・5㍉、後ろ2㍉

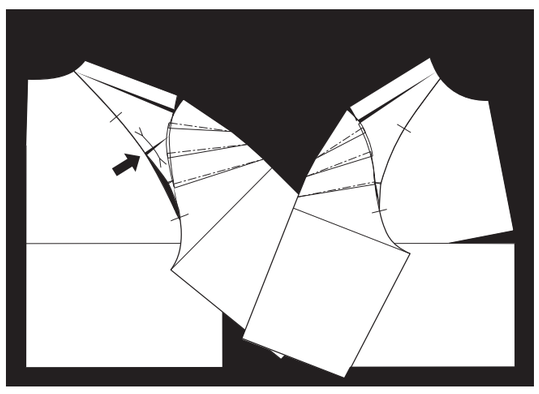
【5－4】④傾斜度20度の作図と袖の完成パターン。

■前袖線＝30度
■後ろ袖線＝20度
■袖山の高さ＝36％
■肩先延長＝前2㍉、後ろ2・5㍉

6．セットインスリーブに近いシルエットにするには

身ごろのラグラン線とインスリーブのシルエットを極力残したままラグランスリーブにした場合、重なりや隙間がどこにできるかを表したものである。この図によれば、後ろラグラン部分が展開によって切り開かれて距離が長くなっているのが分かる。その分をいせることで元のセットインスリーブのシルエットに近づくという理屈である。

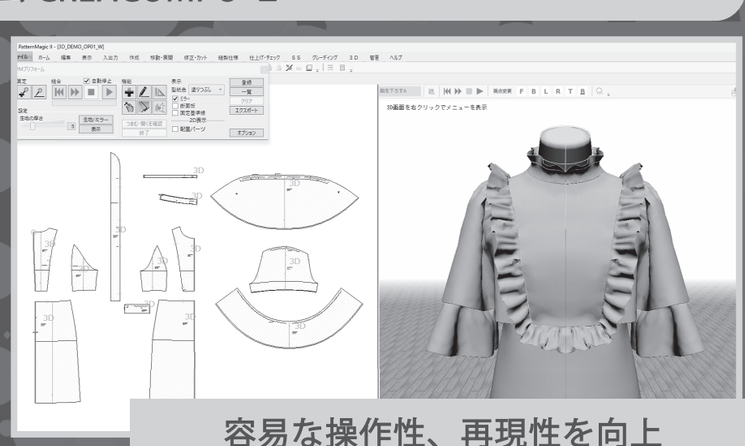
この展開図は、セットインスリーブからラグランスリーブに展開した図。



【6－1】

（次回は5月1日号）

出展　第55回 ASM OSAKA
Apparel & Sewing Machine promotion 2026
2026年 3月 6日[金]～7日[土]
インテックス大阪 3号館　ブース No. 32
詳しくはウェブへ
2026年1月にリリース　CREACOMPO®Ⅱ Ver.9 / XIFORM® Ver.11 を出展します。
アパレルCADシステム CREACOMPO®Ⅱ

DXFデータの一括変換機能を追加

容易な操作性、再現性を向上
アパレル向けデータ管理システム XIFORM®


AI-OCR機能の追加、AI 翻訳ベトナム語追加
東レACS株式会社
https://www.toray-acs.co.jp/
お問い合わせ　東京：☎ 03-6327-7001　大阪：☎ 06-6253-5900
本記載の「商標・登録商標」については、当社ウェブサイト（https://www.toray-acs.co.jp/trademark/）よりご確認いただけます。